



高齢化先進国になる日本の強み

日頃はひとかたならぬお引き立てに預かり厚く御礼申し上げます。

世界の最先端を走るフードビジネスの分野で、世界各国の未来像を現在の日本が体験するビジネスチャンスと思い、積極的な姿勢が求められます。

現在、食にまつわる問題を解決に導くものとして益々の発展を期待されているフードテックは様々な領域で導入活用されています。AI 搭載ロボットの導入、モバイルオーダーやアプリを使ったスポットワーカーも業務効率化や労働者不足問題を解決してくれるでしょう。集客手法は引き続き SNS が主流となり投稿内容次第で新規客も見込めるでしょう。

しかし一方で 2024 年は飲食店の倒産が過去最多を記録しました。食材、光熱費の高騰、人材確保・維持のための賃上げ等で収益が圧迫されている。この問題の解決方法は変わらず客単価と客数 UP であって価格を上げて客数が減らない逆に増え続ける業態や商品開発力、新しい感動体験が求められるでしょう。

これから高齢化社会の中で、目と舌の肥えたお客様が更に増え、SNS 等の情報過多の中からホンモノを見極め選択され、より人間味のある誠実で気配りできるスタッフがいる納得した店舗にリピートするでしょう。しっかりとした理念とビジョンが基にありテクノロジーと共有し常に進化し続けたホンモノだけが生き残るでしょう。お客様もそのような店舗には敬う気持ちで来店し続けるでしょう。

このような好循環で外食産業がもっと盛り上がり、世界各国の未来像を現在の日本が体験するビジネスチャンスと思い、業界横断のコミュニティで次世代の飲食文化を創出、フードビジネスのサポートを引き続き行って参ります。

本年も明るくそして平和な一年であります様に祈念いたします。

2025 迎春

日本フードベンチャー協会
代表理事 前田崇行